

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市観光県外PR事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	俵 崇			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	01	観光PRの充実				
事業の目的	各種イベントやマスコミへの露出を増やすことによって、実際に市へ訪れる観光客を増加させる。						
事業の概要	県外で実施される観光キャンペーン等に参加し、PR活動を実施することで、観光客の誘客を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	5,338		460		2,300	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	マスコミへの露出件数	件	88	25	35	70
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、県外におけるPR活動がほとんど実施できなかった。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	喜連川温泉利用促進事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	俵 崇			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	01	観光PRの充実				
事業の目的	喜連川温泉が多くの人に認知され、より多くの人を訪れてくれる。						
事業の概要	喜連川温泉のPR用物品などを用い、利用促進を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,312		723		1,181	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	市営温泉客数	人	462,202	316,052	310,000	310,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症の影響で、前年度から利用者数が大幅に落ち込んだが、なんとか目標値を超えることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	地域支援パートナー事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	俵 崇			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	01	観光PRの充実				
事業の目的	市の活性化（健康づくりや青少年育成等）やPRに繋がる						
事業の概要	栃木SCのホームゲームの際、ゴール横にさくら市のPR看板を設置、アナウンス及び栃木SCの広報ポスター・WEBサイト等においてさくら市の情報を掲載。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	4,300		4,300		4,300	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	さくら市民デー時の参加人数	人	5,341	10,767	3,500	6,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	ホーム最終戦であったほか対戦相手にも恵まれ目標値を大幅に上回ったため、例年以上の観光PRを実施することができた。 また、例年実施していた、サッカー教室や健康教室等は新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止となった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市魅力等発信事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	山田知明		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	01	観光PRの充実				
事業の目的	さくら市の魅力を伝える。						
事業の概要	○エフエム栃木と業務委託契約締結 ・さくら市の情報をFM栃木にて発信する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,502		2,420		1,524	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	番組の年間平均聴取率	%	-	-	-	-
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	コロナにより公開生放送が中止となり、10月からとしてさくらブランド取扱店を中心に紹介する番組「さくらFM」（毎週金11：30～11：55）に変更。ブランドHP閲覧数が増加した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	フットゴルフによる地域魅力向上事業			事業開始年度	令和 2年度		
担当課	総合政策部 総合政策課		担当者	岡田 慎			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	01	観光PRの充実				
事業の目的	ニュースポーツであるフットゴルフを用いさくら市を「フットゴルフの聖地」とし県内外からプレーヤーが訪れ地域活性化に繋がる仕組みを構築することを目的とする。						
事業の概要	フットゴルフタウン推進委員会を中心に各種大会の開催、フットゴルフの普及啓発、フットゴルフワーケーションの活用など様々な事業を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		1,500		5,000	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	フットゴルフイベント数	回		9	10	10
	成果	フットゴルフイベント参加者数	人		458	500	500
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	商工まつり支援事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	俵 崇			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	02	観光資源の充実と創出				
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会が活性化する ・市のイメージがアップする。 						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会が実施する「商工まつり」の事業経費の補助を行う。 ・氏家商工会と喜連川商工会にそれぞれ交付。 						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	5,500		0		5,500	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	商工まつり参加者数	人	38,000	0	0	45,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため両商工まつりが中止となった					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	暮市・花市開催事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	俵 崇			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	02	観光資源の充実と創出				
事業の目的	伝統行事が継承され、市街地ににぎわいを創出する。						
事業の概要	暮市・花市実行委員会への補助金。毎年、それぞれ1回開催。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	173		0		94	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	暮市・花市開催回数	回	2	0	2	2
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、暮市・花市を中止した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	各種イベント開催事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	俵 崇			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	02	観光資源の充実と創出				
事業の目的	イベント開催を通じ、観光客の増加等により、市内への交流人口の増加の増加もめざす。						
事業の概要	各種イベント開催・参加に伴う消耗品購入・PRチラシ作成・広告業務等の委託。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	4,370		1,831		5,030	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	観光客入込数	人	1,954,537	1,315,739	1,300,000	1,660,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症のため各種イベントの多数が中止となったほか、外出自粛要請等により、観光客入込数は大きく減少した。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	総合交流ターミナル施設維持管理事業			事業開始年度	平成15年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	俵 崇			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	03	観光施設の維持管理				
事業の目的	さくら市の情報発信の拠点施設として市の特産品や魅力情報を多くの来場者に発信する。						
事業の概要	(株)道の駅きつれがわを指定管理者と位置付け、道の駅きつれがわ総合交流ターミナル施設の維持管理を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	77,361		98,012		78,562	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	施設修繕発生件数	件	7	14	10	10
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	特に、クアハウス関係施設が経年劣化によりたびたび修繕を余儀なくされ、目標を達成できなかった。修繕工事自体については、利用者への影響を最小限に抑え実施することができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	温泉施設維持管理事業			事業開始年度	昭和57年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	俵 崇			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	03	観光施設の維持管理				
事業の目的	温泉利用者に喜んでもらえる施設管理を、限られた経費の中で効率よく行い、市民にも、市外の利用者にも親しまれる温泉施設の運営を行っていく。						
事業の概要	市営温泉施設「もとゆ」「露天風呂」の管理運営全般及び観光温泉バスの運行について、（一財）さくら市観光施設管理協会を指定管理者として委託。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	40,089		77,924		97,240	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	温泉施設年間利用者数	人	263,812	201,328	205,000	205,000
	成果	指定管理料	千円	19,500	25,280	20,800	44,970
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者数は目標をわずかに下回った。また、指定管理料についても、休館日や時短営業の影響で増額となった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	観光協会振興事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	俵 崇			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	市のイメージアップ及び観光客の増加。それによって地域の活性化を促す。						
事業の概要	観光客の誘客や地域経済活性化のため市観光協会への補助金の交付。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	20,899		16,419		23,761	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	マスコミ露出件数	件	88	25	35	70
	活動	観光協会主催事業数	件	9	5	7	9
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症の影響で、各種主催事業が中止となり、マスコミ露出件数が大幅に減少した。また、一部代替事業を実施したものの、観光協会主催事業数も減少した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	シティプロモーション事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	総合政策部 総合政策課			担当者	池田真規		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	市の魅力を市内外に発信する為の事業を実施し、交流・定住人口の増加を目指す						
事業の概要	さくら市シティプロモーション戦略に基づき、効果的な事業を実施し、交流人口、定住人口の増加を目指す						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	19,890		18,891		7,516	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	年間観光客入込数	人	1,954,537	1,315,739	1,300,000	1,660,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルスの影響を受け、緊急事態宣言発出など、交流人口を増やすことはできなかった。但し、書籍出版や新聞掲載、SNSの積極的な発信により、さくら市の知名度の向上事業は実施でき、その部分の目標達成はできた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		